



認定看護師 21分野1万7,443人に 専門性を発揮し、高齢者や長期療養者の生活を支える

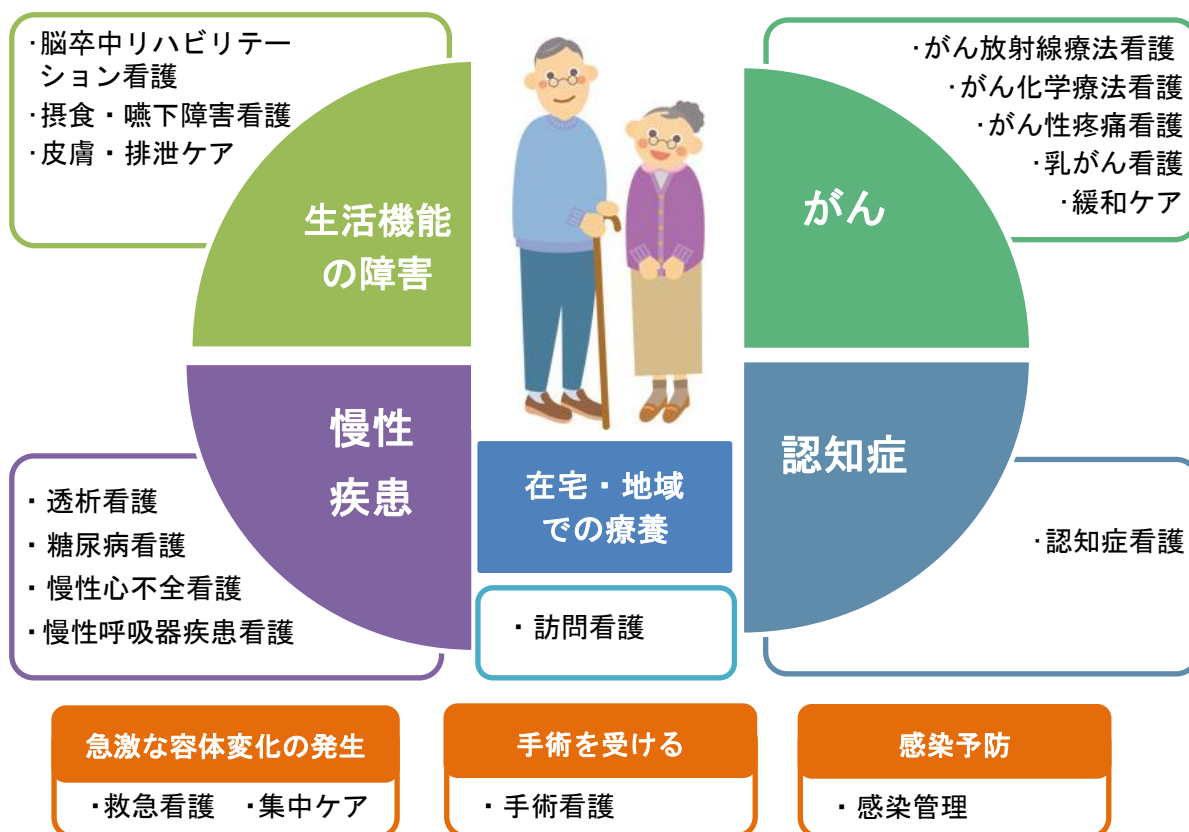
公益社団法人日本看護協会（会長・坂本すが、会員数70万人）は、このたび「第24回認定看護師認定審査」を実施しました。審査に合格した1,626人が新たに認定され、認定看護師は1万7,443人となりました（5ページ参照）。

認定看護師は、高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。現在、21分野の認定看護分野があり、本年度の認定審査は全分野で合計1,765人が受験しました。

超高齢多死社会の到来を控え、高齢者や長期療養者に対する看護には、医療の提供だけでなく生活を支援する視点や、重症化予防・介護予防などの予防の役割が一段と求められています。認定看護師は、それぞれの認定看護分野の専門性を発揮して、高齢者の健康や生活を多様な角度から支えています。

報道関係の皆さまにおかれましては、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。

■ 高齢者・家族を取り巻く健康問題とそれを支える認定看護師（枠内は分野名）



※上記以外の認定分野として、不妊症看護、新生児集中ケア、小児救急看護があります。

高齢化率が上昇する中、認定看護師は患者への直接的な看護だけでなく看護職への指導・看護体制づくりなどのさまざまな場面におけるキーパーソンとして、今後もさらなる活躍が期待されます。

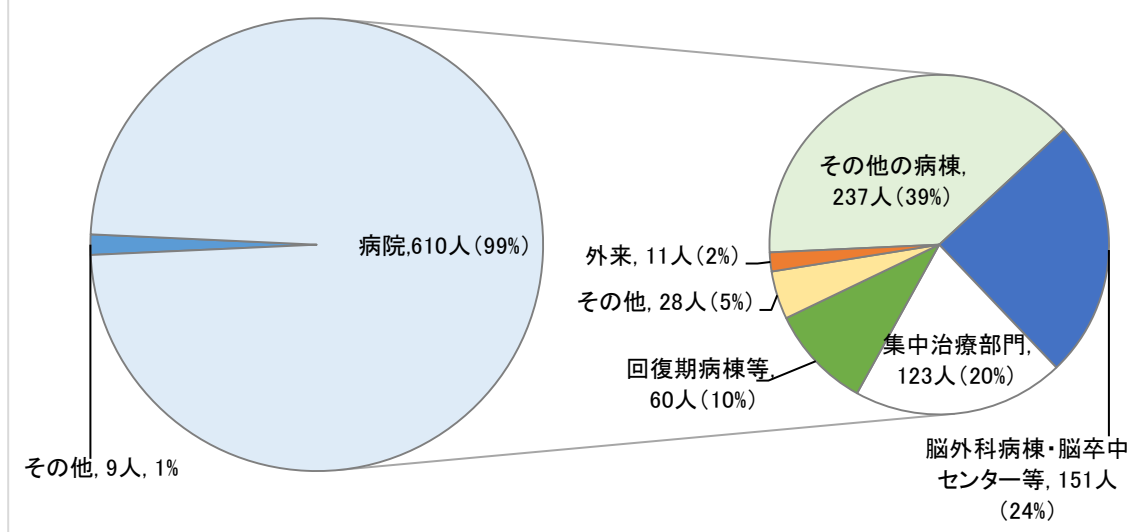
高齢者の生活を支える主な分野と所属状況は、以下の通りです。

■脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

脳卒中発症直後から、患者の回復後の日常生活を見据えた看護を行います。発症の急性期では、容体の悪化を防ぐこと、機能障害を最小にすることに重きを置きながら、早期から廃用症候群予防と生活機能を回復させるためのリハビリテーションを行い、回復後の生活の活動の幅がより広がるよう支援します。また、健康管理などを継続的にを行い、脳卒中の再発予防にも取り組みます。療養生活をその人らしく過ごせるよう、長期にわたり患者・家族を支える活動をしています。

所属施設は「病院」が610人(99%)です(図1)。病院での主な活動場所として、「脳外科病棟・脳卒中センター等」(24%)、集中治療室や脳卒中ケアユニットなどの「集中治療部門」(20%)、「回復期病棟等」(10%)が挙げられます。

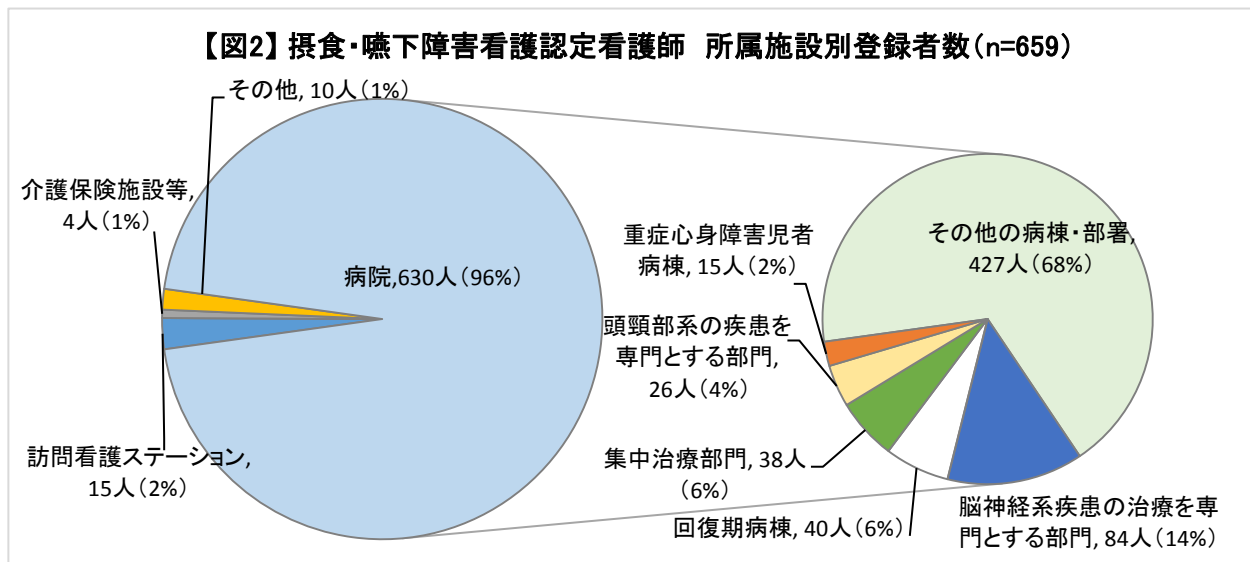
【図1】脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 所属施設別登録者数 (n=619)



■摂食・嚥下障害看護認定看護師

患者の摂食・嚥下機能のレベルを適切に評価し、摂食・嚥下障害の悪化の予防と機能の回復を図ります。加齢や脳血管疾患、頭頸部がんなどによって生じる摂食・嚥下の機能の低下・障害は、口から十分に栄養を取り入れることができないことによる低栄養状態や、誤嚥性肺炎などを引き起こし、健康状態に影響を及ぼします。「口から食べる」ことができるように支援することで、高齢者や長期療養者の生活機能や生活の質が向上するよう働き掛けます。多職種で構成される栄養サポートチーム(NST)などでも、摂食・嚥下障害看護認定看護師はキーパーソンとして活躍することが期待されています。

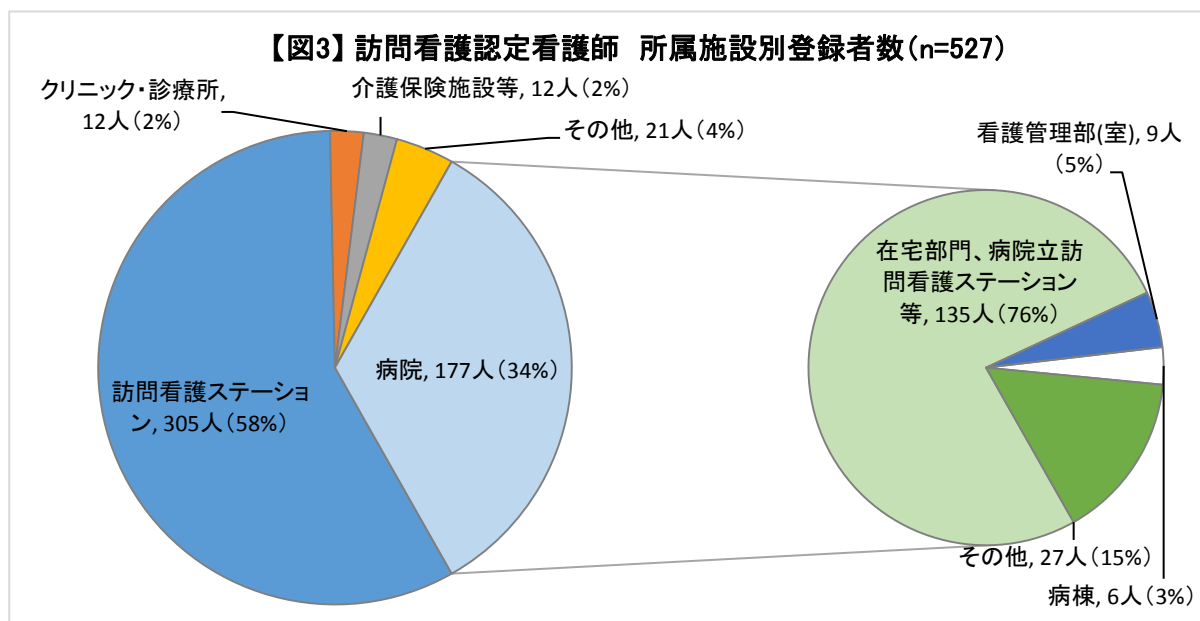
所属施設は「病院」に630人(96%)、「訪問看護ステーション」に15人(2%)が勤務しています(図2)。病院での主な活動場所には「脳神経系疾患の治療を専門とする部門」や「回復期病棟」、「集中治療部門」(集中治療室・救命救急センターなど)、「頭頸部系の疾患を専門とする部門」などがあります。



■訪問看護認定看護師

在宅人工呼吸療法、在宅中心静脈栄養療法、在宅人工透析療法等を行う療養者とその家族に対して、安心・安全に医療を継続できるよう指導・助言・調整などを行い、住み慣れた地域でその人らしい療養生活が送れるよう支援します。また、地域包括ケアシステムの構築におけるキーパーソンとして、医療と介護の連携の推進を図り活躍することが期待されています。

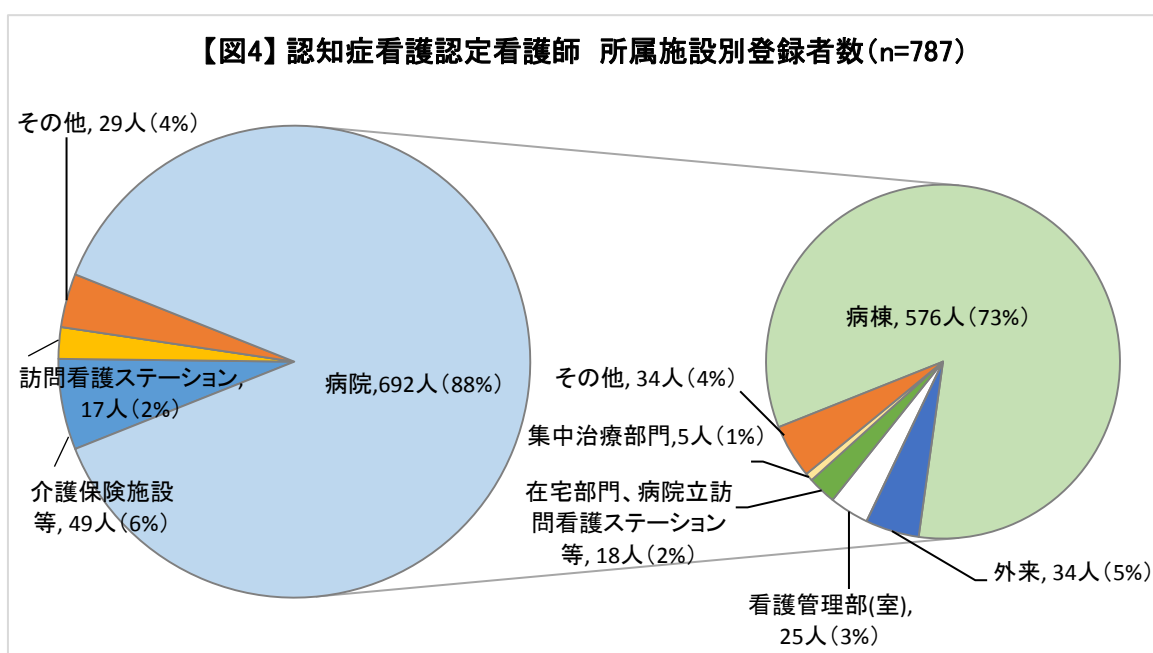
所属施設は「訪問看護ステーション」が305人(58%)と最も多く、次いで「病院」が177人(34%)です(図3)。病院所属者のうちの76%にあたる135人が病院と在宅医療との連携に関する部門で活動しています。



■認知症看護認定看護師

認知症の各期に応じたケアの実践やケア体制づくり、認知症の行動心理症状の予防や緩和、認知症の人にとって安心かつ安全な生活・療養環境の調整などを行います。認知症の人への医療・看護の提供体制において、活躍が期待されます。本年度の診療報酬改定で新設された「認知症ケア加算1」で施設基準として定められた「認知症治療に係る適切な研修を修了した看護師」として評価されました。

所属先は「病院」が692人（88%）と最も多く、「介護保険施設等」に49人（6%）、「訪問看護ステーション」に17人（2%）が勤務しています（図4）。病院内では、さまざまな病棟や部門で多岐にわたり活動しています。



●日本看護協会の資格認定制度

本会は、看護実践の質の向上を目指して資格認定制度を運営しています。「専門看護師」「認定看護師」「認定看護管理者」の3資格があり、認定と5年ごとの認定更新を行っています。1996年に専門看護師が初めて誕生し、1997年に認定看護師が、1999年に認定看護管理者が誕生しました。

▼詳細は、本会 HP「専門看護師・認定看護師・認定看護管理者」もご覧ください。

<http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/>

●認定看護師とは

本会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者です。実践、指導および相談の役割を果たすことで、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上に貢献します。

■第24回 認定看護師 認定審査結果

分野 (認定看護分野特定順)	合格者 (人)	認定看護師総数 (人)
救急看護	100	1,115
皮膚・排泄ケア	148	2,303
集中ケア	95	1,113
緩和ケア	206	2,038
がん化学療法看護	88	1,463
がん性疼痛看護	19	776
訪問看護	70	560
感染管理	256	2,560
糖尿病看護	51	823
不妊症看護	17	162
新生児集中ケア	20	380
透析看護	18	225
手術看護	77	472
乳がん看護	34	316
摂食・嚥下障害看護	78	671
小児救急看護	24	252
認知症看護	159	810
脳卒中リハビリテーション看護	60	640
がん放射線療法看護	24	224
慢性呼吸器疾患看護	24	244
慢性心不全看護	58	296
全21分野 合計	1,626	17,443